

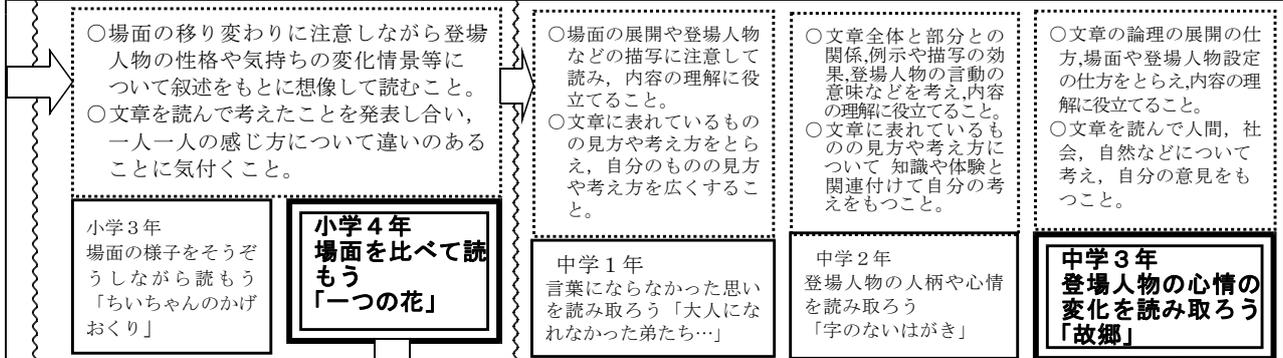
小学校第4学年・中学校第3学年 国語科共通学習指導案

- 1 **単元名** 小学校第4学年…場面を比べて読もう「一つの花」
中学校第3学年…登場人物の心情の変化を読み取ろう「故郷」

2 **9か年の教科の到達目標**

- 文章の論理の展開の仕方、場面や登場人物の設定の仕方をとらえ、内容の理解に役立てる。
- 文章を読んで人間の生き方、社会、自然などについて考え、自分の意見をもつ。

3 **実践する単元の系統**



4 **単元目標**

小学校4年	中学校3年
<ul style="list-style-type: none"> ○ 場面や登場人物の様子を想像しながら読んでいる。 ○ 一つの花に込められた父親の願いや、それを受けとめ、ゆみ子を育ててきた、母親の思いを読み取り、親の子に対する成長への願いについて、感想をまとめることができる。 ○ 人物の言動や類縁語などに着目し、場面と場面を比べながら、人物の気持ちを読み取ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 情景描写や心情描写に興味をもち、時代背景を調べる等、進んで作品を読んでいる。 ○ 私の故郷に対する思いや、年を重ね変わってきた私とルントウの関係等から、当時の中国の人間と社会の関わりを読み取り、私がどのような社会を望んだのか考えることができる。 ○ 情景や人物の描写に着目し、既習の読み方を活用しながら、登場人物達の揺れ動く心情や作者の意図などを読み取ることができる。

5 **児童生徒の実態**

<p>児童の実態</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「言葉ははずして読む」などの読み方を使って登場人物の気持ち、人物像、行動を読み取る経験があり、その有用性を感じている。また、「ちいちゃんのかげおくり」で、ちいちゃんの家族への思いを読み取る経験をしている。 ○ 学習のまとめで、本時の読みを振り返りながら、読み取った内容・読み方を書きまとめる経験が十分ではない。 	<p>生徒の実態</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 物語の中心となる文をもとに、構成、キーワード、特徴ある文章表現に着目しながら読むことが概ねできている。また、読み取ったことをもとに、登場人物や作者に対して確かな自分の考えをもつことができる ○ 読むことの目的意識が明確でないまま読むことが多く、主体的な読みの学習が十分ではない。
--	--

6 **指導上の課題と手だて**

<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学習のまとめにおいて、自分の読みの深まりを意識させたり、読みを振り返らせたりするための手だてが十分ではない。 <p>【手だて】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学んだ読み方を「読み方アイテム」として掲示しておき、常時活用しやすいようにするとともに、読み方アイテムの活用を意識させる支援を行う。協議する（比較する） ○ まとめの段階で、読み取ったことを自ら振り返ることができるように、構造的な板書をしたり、振り返りの視点を与えた学習プリントの工夫を行ったりする。要約する（関連付ける） 	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学習の導入においてめあてのたせ方等、生徒の追究意欲をもたせる必要がある場面、教師主導の展開になりがちである。 <p>【手だて】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 過去から現在までの間に起きた、社会の変化が人間関係にまで影響を及ぼしていることを「キーワードをつかんで読む」読み方を活用させ、その変化を対比させ、自分なりの解釈をさせることで意欲を喚起していく。要約する（比較する） ○ 導入の段階で、学習の見通しを生徒から生み出させる指導の工夫を行い、読む目的を明確にもたせる。対話する（予想する）
--	---

7 共通指導計画（小学4年…13時間 中学3年…8時間）

	主な学習活動・内容 ■ は主な振り返り場面	言語活動に関する手だて等	主な評価規準
課題把握・見通し	<p>小学3年 場面の様子をそうぞうしながら読もう「ちいちゃんのかげおくり」</p> <p>○ 戦争で家族と離ればなれになった幼いちいちゃんが、家族と会えることを信じながら、一人でかげおくりをするまでの様子を読み取り、ちいちゃんに対する自分の考えを深めるとともに、平和の大切さに気付くことができる。</p> <p>○ 繰り返しの言葉や類縁語に着目して、場面を比べて様子の違いを読んだり、登場人物の気持ちを想像したりする読み方を身に付けることができる。</p>		
	<p>小学4年 場面をくらべて読もう「一つの花」</p> <p>1 単元名・リード文・題名をもとに学習の構えをもつ。</p> <p>2 題名と冒頭から読みのめあてを生み出す。</p> <p>— 読みのめあて —</p> <p>① 「一つだけちょうだい」を覚えてしまったゆみ子が、この後どうなっていく話だろう。</p> <p>② 「一つの花」とはどんな花だろう。</p> <p>3 読みのめあてに沿って全文を読み通し、予見を書きまとめる。</p> <p>— 予想される予見の方向性 —</p> <p>① 戦争が激しかったころ、「一つだけちょうだい」を覚えてしまったゆみ子が、家族を残して戦争に行かなければならないお父さんから一つの花をもらい、十年後小さなお母さんになる話。</p> <p>② ゆみ子に喜びを感じる子どもに育ててほしい、たくましい子になってほしいというお父さんの願いが込められた花。</p>		○ 題名・冒頭から疑問等を見つけ、読む目的をもつことができる。
追究・確かめ	<p>4 予見の根拠となった文や言葉をもとに学習計画を立てる。</p> <p>5 決まってゆみ子をめちゃくちゃに高い高いする時のお父さんの気持ちを読み取り、お父さんのゆみ子への思いを読み確かめる。 振り返り 要約する(関連付ける)</p> <p>6 まるで、戦争になんか行く人ではないかのように振る舞うお父さんの気持ちを読み取り、お父さんのゆみ子への思いを読み確かめる。 振り返り 要約する(関連付ける)</p>	<p>○ 話し合い活動では自分と友達の読みの違いを考えながら話し合うようにさせる。</p> <p>○ 既習の読み方アイテムを想起させたり、新出の読み方アイテムを知らせたりしながら、読み取らせる。</p> <p>○ 学習のまとめとして、読み取った内容と読み方を振り返らせ、書きまとめさせる。</p>	<p>○ 既習や新出の読み方アイテムを使って中心文を読むことができる。</p> <p>○ 読み取ったことをつなぎまとめながら、お父さんの気持ちを書きまとめることができる。</p> <p>○ 自分が使った読み方アイテムを振り返り、その有用性を感じることができる。</p>
まとめ	<p>7 一つの花を見つめながら行ってしまってお父さんの気持ちを読み取り、一つの花に込められたお父さんの願いを読み確かめる。 (本時) 振り返り 要約する(関連付ける)</p> <p>8 十年後のゆみ子の姿や生活の様子を読み取り、お父さんの願いがかなったこと、そしてどうしてお父さんの願いがかなったのかを読み確かめる。 振り返り 要約する(関連付ける)</p> <p>9 「一つの花」という題名について考え、読み確かめたことをもとに感想を書きまとめる。</p> <p>10 本単元で見つかったり、使ったりした読み方アイテムをまとめる。</p>	<p>○ 予見に戻り、掲示物を活用し、どのように読んできたかを振り返り、感想として、ゆみ子の立場からお父さんへの手紙を書かせる。</p>	<p>○ 振り返ったことをもとに感想を書くことができる。</p>
	<p>小学5年 人物の考え方や生き方をとらえよう「わらぐつの中の神様」</p> <p>○ 人の身になって尽くす真心を大切にしてきたおばあちゃんとおじいちゃんの生き方とその生き方に感動して変容するマサエの姿を読み取り、自分自身を振り返ることができる。</p> <p>○ 文章構成の意図を考える読み方や人物設定の意図を考える読み方、くり返しの表現に着目した読み方、文末表現に着目した読み方を身に付けることができる。</p>		

	主な学習活動・内容	は主な導入場面	言語活動に関する手だて等	主な評価規準
課題把握・見直し	中学2年 登場人物の人柄や心情を読み取ろう「字のないはがき」 ○ 二つの手紙にまつわるエピソードから、父親像を作り上げることができる。 ○ 筆者の語り方から、父親への思いを読み取ることができる。 ○ 心情を表す表現や文末表現に着目して、登場人物の気持ちを想像したり、場面の情景をとらえたりすることができる。			
	中学3年 登場人物の心情の変化を読み取ろう「故郷」 1 単元名・題名をもとに学習の構えをもつ。 2 題名と冒頭（最初～87最終行）から学習の見通しをもつ。 (本時) 導入 要約する (比較する) 学習の見通し ① 「わたし」の故郷に対する思いはどのように変わっていったのか。 ② 「わたし」とルントウとの関係はどのようなものか。			
追究・確かめ	3 全文を読み通し、学習の見通しに対する自分の考えとその根拠をまとめる。 導入 情報交換する (予想する) 予想される予見の方向性 ① 「わたし」にとって、思い出の中の「故郷」はルントウに象徴される「二十年来、片時も忘れることのない」美しい故郷であった。しかし二十年ぶりの「故郷」は村も人々の様子も変わり果てていた。そのことに落胆した「わたし」は「故郷」と決別する。そして「新しい生活」をもつべきだという「希望」が「わたし」の中で生まれる。 ② 二人は子どもの頃は兄弟の仲で、ルントウは「わたし」のことを「おまえ」「シュンちゃん」と呼んでいた。が、二十年ぶりに再会したとき、「だんな様！…」と呼び、「わたし」の心に最も衝撃を与えることとなった。「わたし」とルントウの関係が、当時の中国の立場の違い、貧富の差の象徴ともなっている。			
	4 予見の根拠となった証拠の文をもとに学習計画を立てる。 5 「わたし」の美しい故郷の記憶が、ルントウとの思い出にもとづいていることを読み取ることで、「わたし」の思い出の故郷への思いを確かめる。 6 再会した時の二人の心情を読み取り、「わたし」とルントウとの関係を読み確かめる。 導入 要約する (比較する) 7 ヤンおばさんがルントウの盗みを暴き立てる様子を読み取り、「わたし」とルントウの関係の変化を読み確かめる。 8 ホンルとシュイションとの関係を自分達二人に重ね、「わたし」の「希望」について考えることで、「わたし」の故郷に対する思いはどのように変わったのか確かめる。			
まとめ	9 「故郷」の社会的な時代背景をとらえる。 ・辛亥革命後、清国から中華民国へ ・魯迅の生い立ち ・魯迅の作品			
	10 参考資料（「藤野先生」等）をもとに、なぜ魯迅が文学者になったのかを知る。 導入 聴き取る (分析する) 11 「故郷」の「わたし」「ルントウ」等の生き方を踏まえて「自分のこれからの生き方」をテーマに意見文を書く。 12 互いに書いた文章を読み合い、意見交流する。			

8 小学校第4学年 組本時の指導について

(1) 本時 (10 / 13) 小学校4年〇組 教室

(2) 本時の目標

- 一つの花を見つめながら戦争に行ってしまう、お父さんの気持ちを、「ゆみ。」の句点に着目したり、ダッシュに着目したりして読み取り、一つの花に込められたお父さんの願いを確かめることができる。
- 既習の「言葉を置き換えて読む」「言葉ははずして読む」「場面をつないで読む」、新出の「句点を読む」等の読み方を習得することができる。
- 読み取ったことを自ら振り返る活動を通して、関連付けながら考えをまとめる力を身に付けることができる。

(3) 本時の展開

学習活動・内容	指導上の留意点 <small>□は語活動を活性化させる手だて</small>	評価規準
<p>1 前時学習を想起し、本時の学習のめあてを確かめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本時学習の進め方を確認する。 ○ 前時までに学習したことを想起しやすいように、学習内容を掲示しておく。 	
<p>めあて</p> <p>一つの花を見つめながら戦争に行ってしまうお父さんの気持ちを読み取り、一つの花に込められたお父さんの願いを読み確かめよう。</p>		
<p>2 2の場面を想像しながら音読する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 口形、声量に気をつけながら読むことを事前に確認する。 	
<p>3 書き込みをもとに、「ゆみ。さあ、一つだけあげよう。一つだけのお花、大事にするんだようー。」に込められたお父さんの気持ちを話し合う。</p> <p style="text-align: center;">(1)~(4) 協議する (比較する)</p> <p>(1) 「ゆみ。」はなぜ句点なのか話し合う。</p> <p>(2) コスモスの花が表す意味について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ どんな場所に咲いていた花なのか ○ どういう意味があるのか <p>(3) ゆみ子を見てにっこりと笑ったお父さんの気持ちを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「それ」が何をさすのか ○ なぜにっこり笑ったのか <p>(4) 「ゆみ子がにぎっている、一つの花を見つめながらー。」汽車に乗って行ってしまうお父さんの気持ちを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ なぜ一つの花を見つめながら行ってしまったのか 	<ul style="list-style-type: none"> ○ (1)~(4)の話し合い活動では自分の考えと友達の考えの違い(根拠・読み)を考えながら話し合うよう助言する。また、読み方アイテムの活用を意識させる。 ○ 「。」に気付かせるために音読をさせ、「。」との違いを考えさせる。 ○ コスモスの花が表す意味を読み取らせるために、既習掲示物を使って時代背景とコスモスが咲いていた場所をつないで考えさせる。 ○ 2の場面の「いや、喜びなんて一つだってもらえないかもしれない」の叙述とつないで考えるよう助言する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 既習の読み方アイテムや自分で考えた読み方を使って中心文を読み、自分と友達の考えを比べながら話し合い、お父さんの気持ちを考えることができる。(学習プリント)(発言・話し合いの様子)
<p>4 本時学習を振り返り、まとめる。</p> <p>(1) 「今日の学習で」を書きまとめる。</p> <p style="text-align: center;">要約する (関連付ける)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 一つの花に込められたお父さんの願いとは ○ どんな読み方を使ったから分かったのか <p>(2) 「今日の学習で」を発表する。</p> <p>一つの花に込められたお父さんの願いとは</p> <p>一つの花に込められたお父さんの願いとは、ゆみ子に食べ物以外の喜びも知ってほしいことや、このような時代でもコスモスのように元気に強く生き抜いてほしいという強い願いでした。</p> <p>使った読み方アイテムは</p> <p>この願いは読み方アイテムの「句点を読む」(短い文になっていて、お父さんの特別な気持ちが表れている)「場面をつないで読む」(お父さんのゆみ子に対する気持ちが分かる)を使って考えると分かりました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ めあてに戻り、どのような読み方をしてきたのかを、板書をもとに教師が叙述をつなぎながら振り返らせる。 ○ 使った読み方を振り返らせるために読み方アイテムを黒板に掲示する。 ○ 自分の考えを分かりやすく伝えるために、学習プリントに「一つの花に込められたお父さんの願いとは」「使った読み方アイテムは」の2つの視点を設け、整理して書きまとめられるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 読み取ったことをつなぎまとめながら、一つの花に込められたお父さんのゆみ子への願いや、どんな読み方を使って読むことができたのかを書きまとめることができる。(学習プリント)

9 中学校第3学年 組本時の指導について

(1)本時 (1/8) 中学校3年 組 教室

(2)本時の目標

- 題名と冒頭から小説全体を見通す学習の見通しを立てることができる。
- 情報交換する活動を通して、見通しをもって作者の投げかけているものを読み取っていく力をつけることができる。

学習活動・内容	指導上の留意点 <small>は言語活動を活性化させる手だて</small>	評価規準
1 題名を読んで、想像したことやイメージ等を書き、全体で交流する。 2 本時の目標の確認をする。	○ 「題名を読む」という既習経験を想起させる。	
めあて 題名と冒頭(最初～87ページ最終行)から学習の見通しをもとう。		
3 冒頭(最初～87ページ最終行)の範読を聞き、二場面に分ける。 4 冒頭の前半部分(最初～87ページ3行目)を読み、小説の設定を読み取る。 (1) 故郷に対する「わたし」の気持ちが分かる叙述に線を引く。 (2) 現実の故郷と20年間思い続けた故郷とを比較して、「わたし」の気持ちを考え、意見交流する。 ○「別れて二十年にもなる故郷」 覚え ず寂寥の感 わびしい村々が～横たわっている。 ○「わたしの覚えている故郷」 もっと ずっとよかった片時も忘れることのな かった故郷 長所を思い出そうとすると～かき消 されてしまう 要約する(比較する) (3)「今回の帰郷は決して楽しいものではない」のはなぜか考え、意見交流する。 ○「故郷に別れを告げに来た」 ○「…家は他人の持ち物」我が家の没落 5 冒頭の後半部分(87ページ4行目～87ページ最終行)を読み新たな登場人物「レントウ」の役割について意見交流する。 (1) 範読を聞き、新たな登場人物についてわかる部分に印を付ける。 (2) 読み取ったことをもとに、登場人物の設定について意見交流する。 ○「わたし」の母が最近会っている ○「わたし」の昔からの知り合い ○レントウが会いに来るかも 対話する(予想する) 6 学習の見通しを考える。 (1) 冒頭から読み取ったことをもとに、個人で学習の見通しをつくる。 (2) 意見交流し、学級全体で学習の見通しをつくる。 要約する(関連付ける)	○ 時間を表す言葉に気をつけるよう助言する。 ○ 「わたし」の心情が分かる言葉に着目するよう助言する。 ○ 「わたし」の「故郷」に対する思いが20年間抱き続けたものと現在のものと二つあることに気付かせる。 ○ この場面での故郷は、誰のどんな故郷へのイメージか作者の意図していることを読み取らせる。 ○ 発問の仕方を工夫し、「今回の帰郷は決して楽しいものではない」という言葉に着目させ、なぜ楽しくないのか考えさせる。 ○ 発問の仕方を工夫し、「わたし」と新しい登場人物との関係を予測させ、どんな人物かを考えさせる。 ・どんな人か ・どんな役割か ・いくつぐらい ○ 学習の見通しを作る視点を明確にし、疑問点や知りたいことを明確にする。 ○ 冒頭で、以前と今の故郷を比較する記述や新たな登場人物の出現によってできたことに気付かせる。	○ 小説の展開に興味をもち、文章表現をふまえて「わたし」の故郷への気持ちの変化を読み取ることができる。(学習プリント) ○ 新しい登場人物について興味をもち、文章表現からどんな人物か読み取ることができる。(学習プリント) ○ 今後の展開に関係する学習の見通しをつくることができる。(学習プリント)
予想される学習の見通し ① 「わたし」の故郷に対する思いはどう変わるのか。② 「わたし」とレントウとの関係はどんなものか。		
7 学習の見通しが完成した学習過程を振り返り、本時の感想・考えを書く。	○ 学習の見通しができるまでの流れを再確認させる。	

10 小学校第4学年 組板書計画

場面を比べて読もう
今西 祐行 作

「めあて」一つの花
一つの花を見つめながら戦争に行ってしまうお父さんの気持ちを読み取り、一つの花に込められたお父さんの願いを読み確かめよう。

「よいよ汽車が入ってくる」というとき
いや、喜びなんて一つだってもらえないかもしれない

ゆみ子はとうとう泣きだしてしまいました。
プラットホームのはしつぽの、ごみすて場のような所におすれられたようにさいていたコスモスの花を見つけたのです。あわてて帰ってきたお父さんの手には一輪のコスモスの花がありました。

①なぜ句点なのか
しつかり聞きなさい
大事なことを言うよ

②「一つだけのお花」「コスモスの花」にはどんな意味があるのだろう
世の中と同じような場所に咲いている強いコスモス
ゆみ子もこのコスモスのように強く生き抜いてほしい
たくさんの喜びを知ってほしい

大事にするんだようー！
ゆみ子は、お父さんに花をも
らうと、キャッキヤッと足をばたつかせて喜びました。

③なぜ「こり笑ったのか」
食べ物以外でも喜んだ姿を見て安心した

④なぜ「この花を肩こめながら行ってしまったのか」
頼むよ 願いがかなってほしい

おとうさんはそれを見て「こり笑うと、何も言わずに、汽車に乗って行ってしまいました。」

ゆみ子のにぎっている、一つの花を見つめながら。
今日の学習で
○お父さんの願いは「ゆみ子に食べ物以外の喜びでも知ってほしい。コスモスの花のように元気に強く生き抜いてほしい。」という願いでした。
○使った読み方アイテムは、
「句点を読む」短い文になってお父さんの特別な気持ちが分かった。
「場面をつないで読む」お父さんのゆみ子に対する気持ちが分かった。

11 中学校第3学年 組板書計画

故郷
イメージ
なつかしい 温かい 祖父母 里帰り
魯迅 作
竹内好 訳

「めあて」
題名と冒頭から学習の見通しをもとう。

◎ 「わたし」の帰郷したときの気持ち
現実の故郷 …… 暗く、わびしい(寂寥の感)故郷
・ 厳しい寒さ ・ 真冬の候 ・ 空模様は怪しくなり
・ 冷たい風 ・ 鉛色の空
・ わびしい村々がいささかの活気も無く横たわる
※ 擬人法
⇒ 美しい、なつかしい故郷
・ 二十年間片時も忘れることのない故郷
・ 長所を思い出そうとすると思いつけない
「今回の帰郷は決して楽しいものではない」
我が家が没落し、引越すための帰郷であるから

◎ 新しい登場人物「ルントウ」の設定
・ 「わたし」の昔からの知り合い
・ 母から聞いて、「わたし」が帰郷することを知っている
・ 「わたし」の母とよく会っている
ルントウの名前を聞いたとき
「このとき突然、不思議な画面」

学習の見通し
「わたし」の故郷に対する思いはどう変わるのか。
「わたし」とルントウとの関係とはどんなものか。

まとめ
学習の見通しを作るには、場面と人物の設定をもとに今後の展開を予測することが大切。